

研究テーマ	山梨県固有のデザインソースの編集とアーカイブ構築		
担当者 (所属)	串田賢一・鈴木文晃・佐藤博紀 (デザイン)・石田正文 (電子材料) 五十嵐哲也・秋本梨恵 (富士工技セ)		
研究区分	総理研研究	研究期間	平成 25～27 年度

### 【背景・目的】

中小企業が魅力ある商品開発を行うためには、地域資源の有効活用を図ることがこれまで以上に重要になってきており、より深みのあるコンテンツづくりとその流通に取り組む必要性が高まっている。

本研究は、地域の中で眠っている地域資源や歴史資源を調査し、中小企業が商品開発に活用することのできるデザインソースとして編集～公開することで、オリジナリティあふれる商品創出に資することを目的としている。

### 【得られた成果】

1. 整備するデザインソースを「形状」「模様」「色彩」「物語」の4つに分類・定義し、対象の有形無形を問わず取材～編集作業を行い、累計1,619点（今年度分362点）のソースを整理した。
2. デザインソースのデータ管理及び一般公開用のメディアとして、スタンドアロン型、Webサイト型の2種の動的データベースを構築した。

「形状」 \_\_\_\_\_ 累計120点  
昨年度までに3次元スキャンした土器や生活用具等のデータをインターネットブラウザ上において3D状態で閲覧することができるようWeb3D化した (図1)。

「模様」 \_\_\_\_\_ 累計480点  
昨年度までに作製した染色用型紙、甲斐絹をベースとしたデータの調整に取り組んだ。また、新たに、本県で出土した縄文土器の文様のシームレスパターン化に取り組んだ。

「色彩」 \_\_\_\_\_ 累計237色  
北杜市、韮崎市、都留市等、県内20地点において採取した土壌について異物除去等の処理を施し、新たに25色をコレクションするとともに、分光測色計によりLab値を整備した。

「物語」 \_\_\_\_\_ 累計782点  
本県に伝わる昔話・伝説を文献調査によりテキスト化するとともに、その舞台となった場所や建築物、物品等の取材を行い、情報の補完を図った。

「デザインアーカイブ」 \_\_\_\_\_ 2種  
スタンドアロン型についてはFilemakerPRO、Webサイト型についてはWordpressを用い動的データベースを作製した (図2)。



図1 Web3D化されたデータの一例

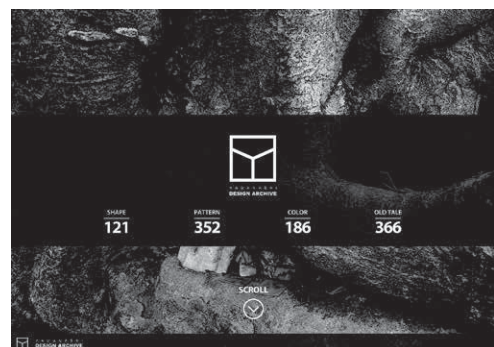


図2 Web版データベースのトップ画面

### 【成果の応用範囲・留意点】

作製したデザインソースは、宝飾品の形状や織物の色・柄をはじめ、食品や印刷・パッケージなど、様々な産業分野において活用することのできるデジタルデータとなっている。